

平成27年11月4日
物流審議官部門 国際物流課

日本・カンボジア物流政策対話及びワークショップの開催結果について

- 国土交通省物流審議官部門では、平成27年10月26日(月)、カンボジア・プノンペンにおいて、「日本・カンボジア物流政策対話及びワークショップ」を開催しました。日本側代表として羽尾物流審議官が、カンボジア側代表としてチャンコサル公共事業運輸省副大臣が出席しました。
- 本対話及びワークショップへは、両国の官・民より物流関係者があわせて50名以上参加し、カンボジアにおける物流発展上の課題や我が国の物流施策等について活発な議論が行われました。
- 今後のカンボジアにおける物流効率化のための政策・施策作りに向けて、我が国における総合物流政策大綱・交通政策基本計画の策定や物流総合効率化法の制定などによる、計画的・省庁横断的取組の枠組みの重要性を強調するとともに、越境通関手続きの透明性の確保や利便性の向上などの重要性を強調しました。

結果概要

- (1) 日時：平成27年10月26日(月) 午前【物流政策対話】、午後【ワークショップ】
- (2) 場所：カンボジア・プノンペン 於： ラッフルズホテル
- (3) 出席者：【日本側代表】羽尾 国土交通省物流審議官
他 JICA、物流関連団体、カンボジア進出日系物流事業者等
【カンボジア側代表】チャンコサル公共事業運輸省副大臣
他 経済財政省、内務省、観光省、物流関連団体等
- (4) プログラム内容
【物流政策対話】
 - ① 両国の物流施策の現況及び課題について
 - ② 昨年度実施した次の物流パイロット事業の結果概要報告
 - ・ ASEAN 地域におけるクロスボーダー国際宅配輸送実証事業
 - ③ カンボジアにおける物流効率化促進に向けた、物流制度上の課題、物流マスタープラン策定、物流効率化促進施策等につきディスカッション形式による議論を実施

【ワークショップ】

- ① 物流効率化とパレチゼーションについての紹介
- ② 北東アジア物流情報サービスネットワーク（NEAL-NET）の紹介
- ③ カンボジアの物流関連団体より活動概要の報告

【物流政策対話】



【ワークショップ】



※ 詳細については別添をご参照下さい。

物流審議官部門国際物流課 野田、熊谷、武田
電話：03-5253-8111（内線 25425、25427）
03-5253-8800（直通）
FAX：03-5253-1559

<別添>

日本・カンボジア物流政策対話及びワークショップ開催結果（詳細）について

(1) 物流政策対話

- ・ 国土交通省より、物流審議官部門の役割・取組を含め、我が国の物流政策について紹介するとともに、昨年度実施した物流パイロット事業のうち、カンボジアと関連のある「ASEAN 地域におけるクロスボーダー国際宅配輸送実証事業」の結果概要を報告した。
- ・ 本政策対話においては、カンボジア側からの要請に基づき、新たな試みとして、カンボジア側の物流課題に基づいたテーマを設定し、ディスカッション形式の議論を実施した。
- ・ カンボジアでは、カンボジアの産業政策（2015～2025）の実現に向けて、物流マスタープランを2018年に策定することとしており、物流インフラの効率的な活用、物流システムの高度化・効率化、モーダルシフト等の環境にやさしい物流に向けた取組等が重要であり、日本のこれまでの経験や各種取組について学んでいきたいとの認識が示された。
- ・ これに対して、日本側からは、総合物流政策大綱・交通政策基本計画の策定や物流総合効率化法などによる計画的・省庁横断的取組な枠組みの重要性を強調するとともに、我が国の物流政策や各種取組事例を紹介し、活発な議論が行われた。
- ・ 越境通関における透明性の確保、シングルストップ・シングルウィンドウ化や開庁時間延長などの利便性の向上など、我が国の物流関連団体や物流業者より要望されている重要課題について課題提議し、カンボジア側との意見交換を行った。
- ・ また、日本側からの要請に応じ、カンボジア側からは、タイ、ベトナム、ラオス間との車両相互通行に関して、現状に関する詳細な報告がなされた。
- ・ カンボジア側からは、日本側の説明に対する謝意が示されると共に、今後、日本の経験や取組を参考としつつ、マスタープランの策定を進めていきたいとの見解が示された。

(2) ワークショップ

- ・ 一般社団法人日本パレット協会より、物流効率化の一手段としてパレチゼーションに関する説明を行った。
- ・ 国土交通省より、日中韓共同で推進している物流情報の可視化・共有化の取組のASEANへの拡大を目指して、昨年8月よりサービスが開始している北東アジア物流情報サービスネットワーク（NEAL-NET）の紹介を行った。
- ・ カンボジアフレイトフォワードर्स協会（CAMFFA）よりカンボジアにおける物流の現状と課題とともに物流マスタープラン策定の必要性について説明が行われた。